

# 第 85 回北摂小児科医会プログラム

日時：平成 30 年 12 月 15 日（土）15 時 00 分～17 時 25 分

場所：関西労災病院 管理棟 4 階 大会議室

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3 丁目 1 番 69 号

TEL：06-6416-1221（代表）

- \* 一般演題 ご発表の先生方へ：1 演題ご発表 7 分・質疑応答 3 分を予定しております。
- \* 当日、会費として 1,500 円を頂戴致します。（但し、初期研修医・医学生 等は無料）
- \* 同会は、日本医師会生涯教育制度 登録研修（1.5 単位）として申請しております。  
研修単位を必要とされる先生におかれましては、日本医師会生涯教育制度管理システム  
の変更により、当日、医籍登録番号のご記入が必要となります。
- \* お車でお越しの方は駐車券を受付にご持参ください。無料駐車券と交換いたします。

共催：北摂小児科医会  
日本イーライリリー株式会社

# 第 85 回北摂小児科医会 プログラム

日時：平成 30 年 12 月 15 日（土）15 時 00 分～17 時 25 分

場所：関西労災病院 管理棟 4 階 大会議室

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3 丁目 1 番 69 号 TEL：06-6416-1221（代表）

## ◇ 話題提供（15:00～15:10）

「成長ホルモン製剤ヒューマトロップと安心の患者さんサポートについて」

日本イーライリリー株式会社

## ◇ 一般演題（15:10～16:00）

座長 泉 裕 先生（関西労災病院 小児科 部長）

### 1. 『特発性縦隔気腫を発症した 8 歳男児の 1 症例』

済生会千里病院 小児科

○新田彩巴、山本なぎさ、吉田敏子、谷本和哉、森本恭子、瀬戸眞澄

症例は 8 歳男児。主訴は前胸部違和感。来院 2～3 日前ビニールボールで前胸部を軽微打撲。胸部 X 線で明らかな気腫は認めず、CT で縦隔と皮下に気腫を認めた。食道造影実施し、明らかな造影剤流出なし。縦隔炎予防目的に抗生剤点滴を行い、経過観察し気腫消失を確認し退院。小児縦隔気腫の報告は稀だが他覚的症状に乏しい場合見逃されている可能性がある。胸部違和感を訴える小児に対して縦隔気腫を鑑別に挙げる必要が考えられた。

### 2. 『多呼吸・不穏をともなった TSST-1 産生 MSSA による 新生児 TSS 様発疹症(NTED)の一例』

関西労災病院 小児科

○指原淳志、石川依子、泉裕

40 週 2 日 Ap8/9 2420g で出生。呻吟、多呼吸を認め酸素投与開始、日齢 2 に発熱と多呼吸増悪・不穏・CRP 陽性がみられ抗生剤を開始した。日齢 3 には血小板減少と紅色小丘疹が出現。臍部から TSST-1 産生 MSSA 検出と TCRV  $\beta$  2 陽性細胞増多が確認され、日齢 9 に NTED と診断した。発熱、発疹、検査所見は速やかに改善したが、多呼吸・不穏は日齢 14 まで持続した。症状の消失を確認し日齢 17 に退院した。MRSA 以外でも NTED はあり得るが、細菌感染症との鑑別に苦慮した。

### 3. 『呼吸不全症状を呈した急性弛緩性脊髄炎の1例』

大阪市立総合医療センター小児集中治療部

○宇城敦司、大塚康義、山本泰史、赤嶺陽子、芳賀大樹、岩田博文、大場彦明、數田高生、的井愛紗、西崎泰隆

急性弛緩性脊髄炎（AFM）は四肢の限局した部分の脱力を急に発症し、MRI で脊髄の灰白質に限局した病変をみとめる疾患である。今回、左上肢の単麻痺で発症した AFM の 3 歳、男児例を経験した。ステロイドパルス、グロブリン投与による治療中にも下肢への麻痺が進行し、呼吸器症状も出現したため、当センタードクターカー搬送され PICU 入室となった。人工呼吸管理、血漿交換などの集中治療を必要としたため報告する。

### 4. 『若年発症した自己免疫性肝炎の1例』

兵庫県立尼崎総合医療センター 小児科

○老木菜々美、中橋達、石原剛広、毎原敏郎

症例は 14 歳女児。友人に眼球結膜の黄染を指摘され近医を受診。採血にて肝胆道系酵素上昇あり、経過観察にて改善を認めていたが再燃したため当院で肝生検を実施した。自己免疫性肝炎の診断基準を満たしステロイド加療を開始した。ステロイドへの反応は良好であった。若年発症の自己免疫性肝炎の頻度は少ないが本症例のような場合もあるため、肝胆道系酵素の上昇を認めた場合、自己免疫性肝炎も念頭に精査する必要があると考えた。

### 5. 『早期乳児のエンテロウイルスおよびヒトパレコウイルス感染症における尿中 $\beta$ 2microglobulin の検討』

箕面市立病院 小児科

○東純史、向井昌史、賀須井悠莉、石見壮史、新田統昭、榊原杏美、長谷川泰浩、木島衣理、溝口好美、下辻常介、山本威久

今回、我々は早期乳児のエンテロウイルス（EV）およびヒトパレコウイルス（HPeV）感染症における尿中  $\beta$ 2microglobulin（u $\beta$ 2MG）測定の有用性を検討した。正期産で基礎疾患のない生後 60 日未満の乳児において、u $\beta$ 2MG 値を、RS ウイルス感染症群、細菌感染症群、EV/HPeV 感染症群で比較したところ、u $\beta$ 2MG 値は EV/HPeV 感染症群で有意に高値を示した。EV/HPeV 感染症では、u $\beta$ 2MG 値は主に入院当日もしくは翌日に最高値を示し、早期の重症度予測にも有用であると考えられた。

◇ 総会 (16:15～16:25)

◇ 特別講演 (16:25～17:25)

座長 泉 裕 先生 (関西労災病院 小児科 部長)

## 『 性分化疾患の初期対応、診断とフォローアップ 』

演者 大阪母子医療センター 研究所 環境影響部門 主任研究員  
消化器・内分泌科 副部長

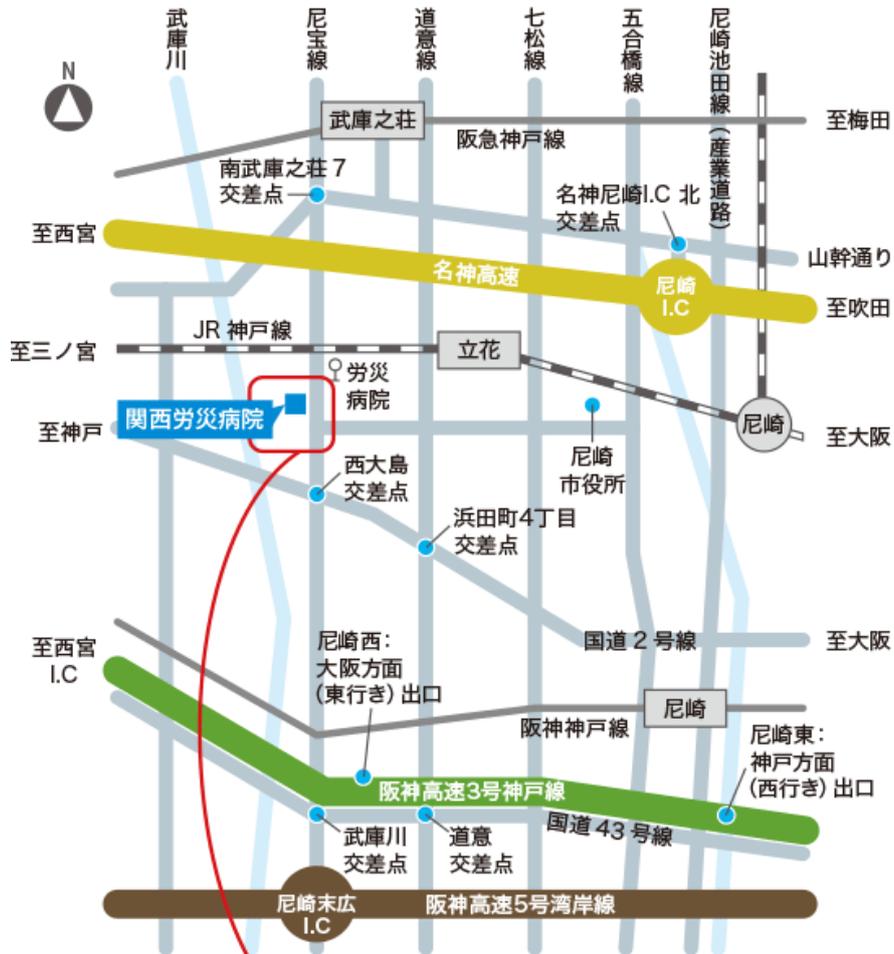
川井 正信 先生

性分化疾患 (DSD: Disorders of sex development) とは、染色体、性腺、または内・外性器の性が非定型的である先天的な状態を指す。尿道下裂などの疾患も性分化疾患の1つであることを考えると、日常診療でDSDに遭遇する機会は決して少なくはない。先天性副腎過形成などの副腎疾患を除き、生命予後にかかわるような緊急性が高い疾患は少ない。しかし、DSDは初期対応を誤ると家族・本人に大きな社会・心理的悪影響を残すため、社会的・心理的な緊急疾患と考え対応をする必要がある。本講演では、DSDの初期対応、診断、および最近重要になっている移行期支援に関して概説したい。

# 【会場までの案内図】

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘3丁目1番69号

TEL:06-6416-1221(代表)



【お越しの際に公共交通機関をご利用の方】



## 【お越しの際に公共交通機関をご利用の方】

### JR 立花駅からバス乗車でご来場の場合

- ◆JR 立花駅 南側バスターミナル 4 番
- 43 系統・宮ノ北団地行き乗車→労災病院 バス停下車
- 43-2 系統・武庫営業所行き乗車→労災病院 バス停下車
- 49 系統・阪神武庫之荘行き乗車→労災病院 バス停下車
- 50 系統、50-2 系統・阪神出屋敷行き乗車→労災病院 バス停下車

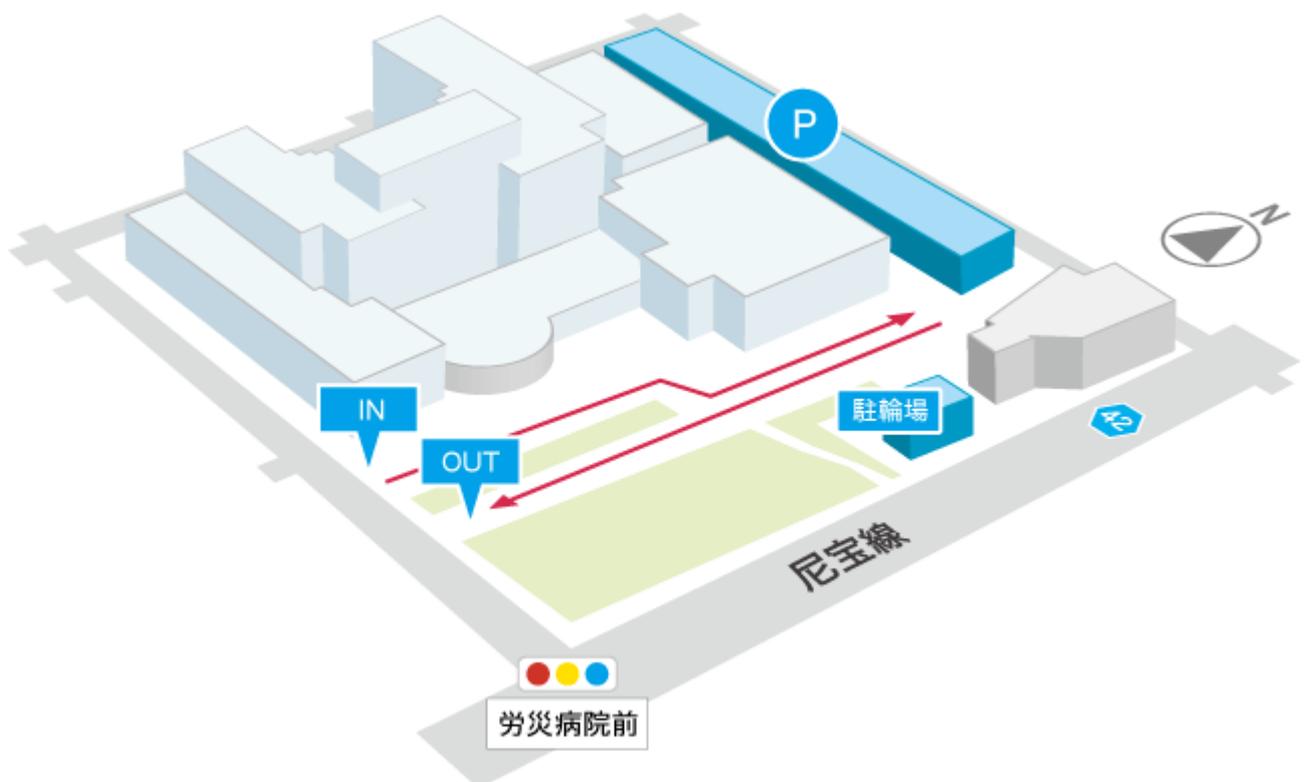
### 阪神尼崎駅からバス乗車でご来場の場合

- ◆阪神尼崎駅 北側バスターミナル 2 番
- 43 系統・宮ノ北団地行き乗車→労災病院 バス停下車
- 43-2 系統・武庫営業所行き乗車→労災病院 バス停下車
- ◆阪神尼崎駅 北南側バスターミナル 1 番
- 宝塚方面乗車→労災病院 バス停下車

### お車でご来場の場合

- ◆当日、お車でお越しの際、病院駐車場へ駐車された方は、駐車券を受付にお持ちください

無料駐車券と交換させていただきます



# 【会場見取り図】

正面玄関、もしくは時間外通用口より  に沿って管理棟へお越しください  
管理棟 1階エレベーターより4階へおあがり下さい

